

### (3) 政治学教育における学士力の考察

CCC政治学運営委員会は、21年5月、9月、10月の3回開催した。政治学分野では、必ずしも卒業後に政治を専門としない学生が多いことから、政治学の基本概念の理解や政治社会の仕組み・現象、さらには政治制度と人間行動の関係など基本的な知識を持たせる。その上で意思決定と価値形成の力を身に付けさせ、社会に出て活躍できる力とした。その上でサイバーFD研究員141人に意見を求め、23人(16%)の意見を踏まえ、以下の通りとりまとめた。ここでは、「コア・カリキュラムのイメージ」、「測定方法」を割愛したので、詳細は資料編【資料5】を参照されたい。

#### 【到達目標1】

権力、正統性、国家(政治共同体)などの政治学の基本概念とその歴史を理解できる。

#### 【到達度】

- ① 政治的諸概念について論理的に説明し、その歴史的背景を理解している。
- ② その概念を使って現実の政治現象を説明できる。

#### 【到達目標2】

政治社会の制度的仕組み、現実の政治現象を動的・比較的・歴史的な視点から理解できる。

#### 【到達度】

- ① 事象についての正しい知識を持っている。
- ② 事象間の正確な事実関係を把握できる。
- ③ 資料の扱い方や科学的・客観的な評価スキルを身に付けている。

#### 【到達目標3】

政治制度と人間行動の関係について社会科学的な認識を得ることができる。

#### 【到達度】

- ① 制度と人間行動についての正しい知識を持っている。
- ② 実証的資料にもとづいて政治現象を議論できる。
- ③ フィールド調査を企画、実施できる。

#### 【到達目標4】

人間の集会的決定と共同での秩序形成・維持を可能ならしめる様々な仕組みについて、基本的理解ができる。

#### 【到達度】

- ① 多面的な意思決定・価値形成プロセスについて理解している。
- ② 問題解決の切り口を見つけることができる。

#### 【到達目標5】

現代の政治社会の諸問題を複眼的に捉え、どのような問題があるのか発見し、その問題を集会的意思決定により解決していく態度を身に付ける。(価値の多様性を理解しつつ、異なる価値観同士の共生の方途を探る態度も含む)

#### 【到達度】

- ① 社会に出て活躍していける問題発見力、表現力、解決力を身に付けている。

#### (4) 政治学教育における情報教育

CCC政治学運営委員会は、学士力考察をとりまとめた後、22年1月、に1回開催した。検討は、政治及び政治学に関する課題・事象についての情報の所在と検索、情報倫理を身に付け、情報の信頼性・信憑性の識別、情報の比較・対照と分析、コミュニケーションに適切なメディアの選択などをとりあげた。

##### 【到達目標1】

政治および政治学に関する課題、事象について、適切な情報の収集・整理ができる。

##### 【到達度】

- ① 情報検索とソフトウェア（ワープロ、表計算、プレゼンテーション）などの基本的な情報処理能力を身に付けている。
- ② 政治および政治学関係の文献・資料の所在を知り、検索することができる。
- ③ 政治的な事象に関して、情報収集の適切な方法を知っている。
- ④ 種々のメディアの特性を理解している。
- ⑤ 情報倫理を身につけており、情報の信頼性・信憑性を識別できる。

##### 【教育内容・教育方法】

①～⑤は、概論および実践紹介により理解させる。

##### 【到達度確認の測定手段】

①～⑤は、教育支援システムを利用し、小レポート、アンケート等で確認する。

##### 【到達目標2】

情報通信技術を活用して、収集した情報を分析し、課題の実証、問題の発見に役立てることができる。

##### 【到達度】

- ① 目的に沿って情報の比較、対照、処理ができる。
- ② 情報のおかれているコンテキストを理解し、情報に含まれる多様な意味内容を客観的に比較・分析ができる
- ③ 問題を発見し、課題を設定できる。

##### 【教育内容・教育方法】

①～③は、双方向性を重視し、教員と学生および学生間のコミュニケーションを通じて、教育する。

##### 【到達度確認の測定手段】

①～③は、講義形式の場合は、教育支援システム(掲示板等)を活用して、フィードバックを重視する。ゼミナール形式の場合は、対面コミュニケーション、グループ学習を活用して確認する。

##### 【到達目標3】

コミュニケーションに情報通信技術を駆使し、発表することができる。

##### 【到達度】

- ① 発見した問題に対する自らの見解を適切に表現できる。
- ② コミュニケーションの内容・対象に応じて、適切なメディアを選択できる。
- ③ マルチメディアを活用して意見発表し、他者との意見交換を通じて共通理解をつくり出すことができる。

##### 【教育内容・教育方法】

①～③は、ゼミ論文集の作成や学生間での研究発表、プレゼンテーションを活用して、教育する。

##### 【到達度確認の測定手段】

①～③は、教員による評価のみならず、学生間の相互評価等により確認する。